

各種審議会等審議結果公表シート

会議の名称	平成 24 年度第 2 回中津川市博物館等協議会
開催日時	平成 25 年 2 月 25 日（金）14 時 30 分～16 時 30 分
開催場所	中津川市鉦物博物館 研修室
出席者の役職名	委員 9 名（欠席 2 名） 教育長・文化スポーツ部長・文化振興課長・鉦物博物館長（兼苗木遠山史料館長兼青邨記念館長）・中山道歴史資料館副館長・子ども科学館長 鉦物博物館学芸員・文化振興課学芸員 3 名
話し合われた内容 （会議録又は 審議概要）	<p>1. 教育長あいさつ</p> <p>2. 協議会会長あいさつ</p> <p>3. 協議事項</p> <p> (1) 報告事項</p> <p> ・平成 24 年度各館事業報告</p> <p> 各館事業を各館長より報告（資料 No.1）</p> <p> ・その他</p> <p> 平成 25 年度以降各館の職員体制について</p> <p> 鉦物博物館長から説明</p> <p> 【会長】 ふれあい公社から市の臨時職員になるということだが、減員となることを心配していたが、それはどうか。</p> <p> 【鉦物博物館長】 人員については、現状を確保しております。</p> <p> 【委員①】 現在の臨時職員の方は長年勤務され、運営のノウハウを蓄積されている方がお見えになると思いますが、そのような方々は残り来年度に支障はないということによろしいか。</p> <p> 【鉦物博物館長】 お辞めになる方もありますが、ほとんどの方が残りますので支障はないと考えています。ただし市の雇用形態が 3 年の雇止めがありますので、今後はそれを見越して順次切り替えをしていかなければなりません。館長職については、嘱託館長を置き対応していきたいと考えています。</p>

【会長】 3年というのは、今回新規ということで、ここから3年ということですか。

【鉱物博物館長】 ふれあい公社からの方は今回が新規採用となりますので、25年度から3年ということです。

【部長】 25年度採用ですと、今後3年間ですが、過去に市臨時職員となっている方は引き続きとなります、中山道資料館でいいますと今年度3年経過する方がありますので、退職となり新たな方を採用することとなります、又退職後6ヵ月間経過すれば同じ方を採用できることとはなっておりません。博物館等は専門的な知識も必要となってくるので、今後はそのような方を確保していきたいと考えております。

【会長】 市の正規職員の人数はどうですか。

【部長】 各館に正規職員が配置されていないのが現状ですが、部としては鉱物博物館を中心に現有の正規職員を配置していきたいと考えています。

(2)協議事項

- ・平成25年度文化スポーツ部の方針と重点（案）

文化スポーツ部長及び文化振興課長から説明（資料No.2）

- ・平成25年度各館主要事業計画（案）

各館長から説明（資料No.3）

【委員②】 青邨記念館再整備については、ある程度の概要などがあって内容を詰めていくのか、白紙の状態なのか、今の段階でビジョンなどがあれば教えていただきたい。

【部長】 休館中の青邨記念館ですが、再利用するのか又は新たな場所で行くのかなど、まだ場所規模等運営方法についても、現在は白紙の状態でございます。

今後青邨記念館という文化資源については、再整備をしていきたいという思いはいっぱいで在りますが、地域の方で青邨生誕地近くで再開してほしい等要望を受けていますが、

25年度市民の方々の意見を伺いながら、再開に向けて進めていきたいと考えています。

【会長】 今までは青邨記念館ということで作ってきていますね、遠山史料館、中山道資料館言ってみれば固有名詞ですね、ところが今度新しくするとき、青邨記念館だけで良いのか、中津川市には、青邨だけでなく日本的に打って出られるような美術家あるいは郷土だけの美術家が居るわけで、広い意味で中津川市美樹館とか中津川市美術芸術村とかですね、

その中に青邨が含まれ中川ともが含まれ、この地域の美術関係者を含められたものが出来るかどうかということですね、あるいはそういうことをするよりも逆に青邨大賞展がありますから、青邨で売っていくとか、一度考えることも必要である。初めに青邨ありきではなくて、例えば中山道資料館では中山道に関するだけでなくもっと広い意味で市民がもっている資料集とかそれを発信するとかも考えてよいのではないかと。せっかく新しく造るのであれば、このようなことも考慮してほしい。

【部長】 今度の再整備について、美術館的な機能、前田青邨の顕彰の施設のみならず、市全体でまだ顕彰していない画家が多くおられます。その方々を紹介する施設もないわけですから文化振興ビジョンのなかで検討していきたい。郷土の画家の紹介だけではなく子どもたちの絵画への感性教育的なこともできる拠点施設としても考えていきたい。

【会長】 情報サービス提供のなかでデジタル化の現在の状況はどの程度進んでいるのか。

【学芸員】 ホームページ上で閲覧できるのは、鉾物博物館の長島コレクション 130 点ほどです。遠山史料館では所蔵品の一部デジタル化を進めている状況で、古文書等については公開できるデータベース化はできていません。

【部長】 補足します。現在は各館の所蔵品を画像に収めてデジタル化をして集積をいく、今後はそれを公開していく事業が待っています。これについては閲覧できるシステムを作る必要があります。市の図書館で公開システムを 25 年度 26 年度で検討して、それぞれ蓄積した資料を市民の方が各館ホームページ上で所蔵品のリストを閲覧できる仕組みを作りたいと考えています、現在は各館資料のデジタル化を蓄積していき、このシステムに乗れるように進めていきたい。

【委員③】 部の方針にふるさとの先人を顕彰しというのがありますが、普及振興を図る内容は、どのようなものか。

【文化振興課長】 これにつきましては、先ほどから出ております、前田青邨、付知では熊谷守一 この方々については全国公募展を行っております、文芸関係ですと島崎藤村が馬籠で藤村文藝祭を開催しております。現在特定の先人の方で顕彰するのはこの 3 名の方々です。そのほかまだまだ優れたかが見えますので、それらの方も顕彰していくという考えです。

【委員③】 基本的には、この 3 名の顕彰をしていくということですね。

【文化振興課長】 そうです。

【委員④】 各館に訪れた方が、他市の方ですが。訪れてよかった点とかを各館ホームページに書き込みができるような仕組みになっていますか。

【学芸員】 現状では、そこまではできていません。

	<p>【委員④】 来館者の意見というのは非常に参考になると思うので、進めていってほしい。</p> <p>【会長】 各館が所蔵しているものは、個人の物から寄託は別にして、寄贈されているものは 広く言えば市民の物ですので、基本的には公開する。場所人員の問題はありますが、市民の目に触れるようにしていくべきである。</p> <p>【委員⑤】 前回の会議でも話しましたが、市民の方に来館してもらうのには、無料にする、もしくは無料券を市民に配布するなどしたらどうですか。一度だけではわからないこともあるので、そうすれば何回も来ていただけるのではないかと思います。</p> <p>【委員⑥】 小学生の子を持つ親です。各館土日に教室等開催していますが、いまの子達は土日スポーツ少年団などへの参加で忙しく、なかなか参加できない状況です。そんななか 学校の社会見学はトヨタとか名古屋港水族館など遠くへ行ってしまふ、せつかく近くに いろんな館があるので、学校で各館への働きかけがあると、子どもたちが知ると、次には親と一緒に来館するというように、是非学校との連携をすることを考えてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議事項のまとめ及び取組状況を事務局より報告。
会議資料	<p>資料 No.1 平成 24 年度各館事業報告</p> <p>資料 No.2 平成 25 年度文化スポーツ部の方針と重点（案）</p> <p>資料 No.3 平成 25 年度各館主要事業計画（案）</p> <p>資料 No.4 維持管理費（収支対比）及び入館者数等</p>
所管部課	鉱物博物館